

～世界中で愛される花の女王～

バラ まもなく 見頃 です

国営ひたち海浜公園の「常陸ローズガーデン」では、約3,400株のバラがガーデン全体で「咲き始め」となりました。今年は4月の気温が高かった影響により、昨年より10日、例年より11日早く5月11日に見頃を迎える見込みです。バラには早咲き性・中咲き性・遅咲き性があることからすべてが咲き揃うことはなく、早咲き性のバラはすでに見頃を迎えています。ガーデン全体の見頃は5月25日頃まで続き、遅咲き性のバラは5月末頃までお楽しみいただけると予想しております。



常陸ローズガーデン 撮影/2023年5月9日

◆多様な花色・花形・香りが魅力の「バラ」

バラはバラ科バラ属で、原種が北半球に広く分布する常緑または、落葉低木です。品種数は全世界で約3万種以上といわれ、多様な花色・花形・香りが魅力の園芸品種の基は、概ね8品種の原種バラとされています。そのうち、ノイバラ・テリハノイバラ・ハマナスは日本を代表する原種バラとして、多くのバラの祖となりました。茨城県は「ハマナス」が自生する太平洋側の南限で、当園では1,600株を植栽しています。

【バラ】 ■見頃時期/5月11日～5月25日頃まで ※常陸ローズガーデン全体の見頃時期

■品種数/約120品種 ■株数/約3,400株(内ハマナス1,600株)

■場所/常陸ローズガーデン ■植栽面積/約3,500㎡



ハマナス 咲き始め (2023年5月9日撮影)



ゴールドパニー 見頃 (2023年5月9日撮影)

◆茨城県の県花「バラ」

茨城県の「茨」にはバラという意味があり、バラは茨城県の県花となっています。約1,300年前(奈良時代713年)に書かれた「常陸国風土記」の「茨城郡」の条に、黒坂命が茨(うばら)で城を築き賊を退治した説話が残されており、この地方を茨城(いばらき)と呼ぶようになったといわれています。県花は茨城という地名にちなむとともに県章、県旗のいずれもが「バラ」をかたどっている関連においてバラとされました。

◆大人から子どもまで楽しめる「常陸ローズガーデン」

常陸ローズガーデンは3つのゾーンで構成され、公園ボランティアである「ローズパートナー」協力のもと、大人から子どもまで世代を問わずバラをお楽しみいただけるよう、愛情をこめて育てています。小さなお子様や車いすの方にもバラを間近でご覧いただくため、バラの背丈は低くなるように管理しています。

ローズレリーフガーデン

大観覧車から眺めると、全体が大きな一輪のバラとして浮かび上がるデザイン。中心には「希望」という品種を植栽しています。

リラクゼーションガーデン

科学万博つくば'85から継承した赤いらばろルート、白いアイスバーグを植栽。芝生やベンチでゆっくりくつろぎながら鑑賞できます。

ハマナスの思い出ガーデン

日本の原種バラを代表する「ハマナス」が自生する太平洋側の南限に位置する茨城県。1,600株に及ぶハマナスの豊かな香りをお楽しみいただけます。



アイスバーグ 咲き始め (2023年5月9日撮影)

＜公園HP＞
常陸ローズガーデン
特設ページ



Information

大草原フラワーガーデンでは、シャーレーポピーが咲き始めました。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>